

資料提供	
平成29年5月18日	
担当課 (担当者)	県立博物館 学芸課 (川上 靖)
電話	0857-26-8044

自然の窓『はねのミニ博覧会』の展示について

鳥取県立博物館では、自然の窓コーナーにおいて、下記のとおり『はねのミニ博覧会』を展示しています。この展示は、今夏開催の企画展「つばさの博覧会」（7月15日[土]～8月27日[日]）のプレ展示でもあります。

記

1 展示テーマ：『はねのミニ博覧会』

2 展示趣旨：

地球の歴史上で、自力で空を飛ぶ能力を獲得した動物は、昆虫類、翼竜類、鳥類、コウモリ類の4グループだけである。この中で最初に空を飛んだのは昆虫であり、およそ4億～3億3千万年前にさかのぼる。また、飛翔器官については、昆虫以外は運動器官であった前肢（腕、指）を変化させ、つばさとして利用したものであるが、昆虫は「翅（はね）」という新たな器官を進化させた。この翅の獲得により、昆虫は地球上の動物の約75%を占めるまでに繁栄した。さらに翅には、飛ぶ以外にも、防衛、擬態、アピール、発音などの用途に進化したものもある。この展示では、このような多様な昆虫の翅を標本で紹介する。

3 展示期間：平成29年5月11日（木）～平成29年7月7日（金）

4 展示場所：鳥取県立博物館 自然展示室「自然の窓」コーナー

5 展示内容：

◇標本：さまざまな昆虫の「翅（はね）」

- ・モルフォチョウ、コノハチョウ、フクロウチョウなどの世界の蝶類
- ・コノハムシ、オオコノハギス、オオバッタなどの世界の直翅類
- ・バイオリンムシ、ゾウムシ、コーカサスオオカブトなどの世界の甲虫類
- ・シオカラトンボやアブラゼミなどの身近な昆虫類

◇解説：

- ・地球上ではじめて空を飛んだ昆虫
- ・飛ぶ以外の用途に進化した翅

◇その他：企画展「つばさの博覧会」の予告

6 問合せ先：鳥取県立博物館 主幹学芸員 川上 靖(かわかみ やすし)

電話：0857-26-8044／ファクシミリ：0857-26-8041



展示のようす

